

# JIS

## 自動車用加硫ゴム材料の分類

JIS K 6403 : 2018

(JSAE)

平成 30 年 4 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## 日本工業標準調査会標準第一部会 構成表

	氏名	所属
(部会長)	酒井 信介	東京大学
(委員)	伊藤 弘	公益財団法人住宅リフォーム・紛争処理支援センター
	宇治 公隆	首都大学東京 (公益社団法人土木学会)
	大石 美奈子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	大瀧 雅寛	お茶の水女子大学
	奥田 慶一郎	一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会
	奥野 麻衣子	三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社
	金丸 淳子	公益財団法人共用品推進機構
	鎌田 実	東京大学
	河村 真紀子	主婦連合会
	佐伯 洋	一般社団法人日本鉄道車輛工業会
	椎名 武夫	千葉大学
	高田 祥三	早稲田大学
	高増 潔	東京大学
	千葉 光一	関西学院大学
	長井 寿	国立研究開発法人物質・材料研究機構
	長田 三紀	全国地域婦人団体連絡協議会
	中村 一	一般社団法人日本鉄鋼連盟
	奈良 広一	独立行政法人製品評価技術基盤機構
	西江 勇二	一般財団法人研友社
	福田 泰和	一般財団法人日本規格協会
	榎 徹雄	東京都市大学
	三谷 泰久	一般財団法人日本船舶技術研究協会
	棟近 雅彦	早稲田大学
	村垣 善浩	東京女子医科大学
	山内 正剛	国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構放射線医学総合研究所
	和辻 健二	一般社団法人日本自動車工業会

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：昭和 46.8.1 改正：平成 30.4.20

官 報 公 示：平成 30.4.20

原 案 作 成 者：公益社団法人自動車技術会

(〒102-0076 東京都千代田区五番町 10-2 五番町センタービル TEL 03-3262-8211)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準第一部会 (部会長 酒井 信介)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

## 目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 分類	2
4.1 分類の表示	2
4.2 分類の記号	2
5 試験方法	6
6 試験片の採取	7
附属書 A (参考) 耐熱度及び耐油度による材料分類と対応する原料ゴム	54
解 説	55

## まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、公益社団法人自動車技術会（JSAE）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS K 6403:1999** は改正され、この規格に置き換えられた。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

# 自動車用加硫ゴム材料の分類

## Classification system for vulcanized rubber for automotive applications

### 序文

この規格は、1971年に制定され、その後4回の改正を経て今日に至っている。前回の改正は1999年に行われたが、その後追加要求性能の見直し及び引用規格の改正に伴う技術的内容の変更に対応するために改正した。

なお、対応国際規格は現時点で制定されていない。

### 1 適用範囲

この規格は、自動車用として使用する加硫ゴム材料（以下、ゴム材料という。）の品質に基づく分類について規定する。

### 2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

**JIS D 0205** 自動車部品の耐候性試験方法

**JIS G 3101** 一般構造用圧延鋼材

**JIS K 6200** ゴム—用語

**JIS K 6250** ゴム—物理試験方法通則

**JIS K 6251** 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—引張特性の求め方

**JIS K 6252-1** 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—引裂強さの求め方—第1部：トラウザ形、アングル形及びクレセント形試験片を用いる方法

**JIS K 6253-3** 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—硬さの求め方—第3部：デュロメータ硬さ

**JIS K 6254** 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—応力—ひずみ特性の求め方

**JIS K 6255** 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—反発弾性率の求め方

**JIS K 6256-2** 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—接着性の求め方—第2部：剛板との90°剥離強さ

**JIS K 6256-3** 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—接着性の求め方—第3部：2枚の金属板間の接着強さ

**JIS K 6257** 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—熱老化特性の求め方

**JIS K 6258** 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—耐液性の求め方

**JIS K 6259-1** 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—耐オゾン性の求め方—第1部：静的オゾン劣化試験及び動的オゾン劣化試験

**JIS K 6261-2** 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—低温特性の求め方—第2部：低温衝撃ぜい化試験

**JIS K 6261-3** 加硫ゴム及び熱可塑性ゴム—低温特性の求め方—第3部：低温ねじり試験（ゲーマン